

2021年11月1日

調査室

今週の株式相場見通し

* 日経平均 28,000~29,500円 TOPIX 1,950~2,050

* 期待材料 自民党の単独過半数確保 経済対策 中国の規制・統制強化政策の緩和 中国株高

* 不安材料 自民党の単独過半数割れ ガソリン価格高騰 インフレの常態化 米国の利上げ前倒し

今週の株式市場は衆院選と7-9月期決算発表の結果を受けた展開が見込まれる。岸田首相は自民党と公明党を合わせた与党で過半数の233議席獲得を勝敗ラインとしたが、自民党単独で40議席あまり減となる単独過半数233議席(公示前勢力自民党276議席、公明党29議席)を確保できるかが最低の勝敗ラインになると見られており、ここを割り込むようだと株式市場にネガティブな影響が出ることが見込まれる。10月24日に行われた参院静岡補選で自民党候補が敗北し、25日は中国や台湾、韓国などの株価が上昇する中で、日本だけ下落する展開になった。自民党単独で過半数を確保できない場合、今週の日本株は軟調な推移となり、中長期的にも日本株が世界の株式市場に対してアンダーパフォームする展開になることが懸念される。一方、自民党の獲得議席数が過半数の233議席を上回り、安定多数(17ある常任委員会の委員長ポストを独占したうえで、委員の半数を占める)の244議席を確保できれば、岸田政権へ国民の信任が得られたと評価され日本株にネガティブな影響は出ないものと思われる。さらに、自民党が単独で絶対安定多数(常任委員会の委員長ポストを独占したうえで、委員の数でも野党を上回り安定的に国会を運営できる議席数)の261議席を上回った場合、12年、14年、17年の衆院選後の日経平均株価は大幅高になったが、岸田政権は分配を重視し株式市場に対してアンフレンドリーだと見られ、過去3回のように日経平均株価が大きく上昇する展開になるのか、市場の反応を注視したい。決算発表では、事前の市場予想を上回る決算が出てくるか注目される。一足早く決算発表シーズンに入った米国では、ブルームバーグの集計によるとS&P500指数構成企業のうち、10月27日までに決算発表を終えた211社中173社が事前の市場予想を上回る決算を発表し、好決算を受けてS&P500は最高値を更新する展開になっている。日本企業でもローテやアドテックプラズマ、新光電工、SCREEN HD、シマノなど、事前の市場予想を上回る決算を発表した企業は決算発表後の株価が上昇している。原材料高やサプライチェーンの混乱、中国経済の減速などの逆風を乗り越えて、市場の期待値を上回る業績を出す企業が相次げば、日本株も米国株と同様に高値を目指す展開になるものと思われる。(10月28日現在、松本 直志)

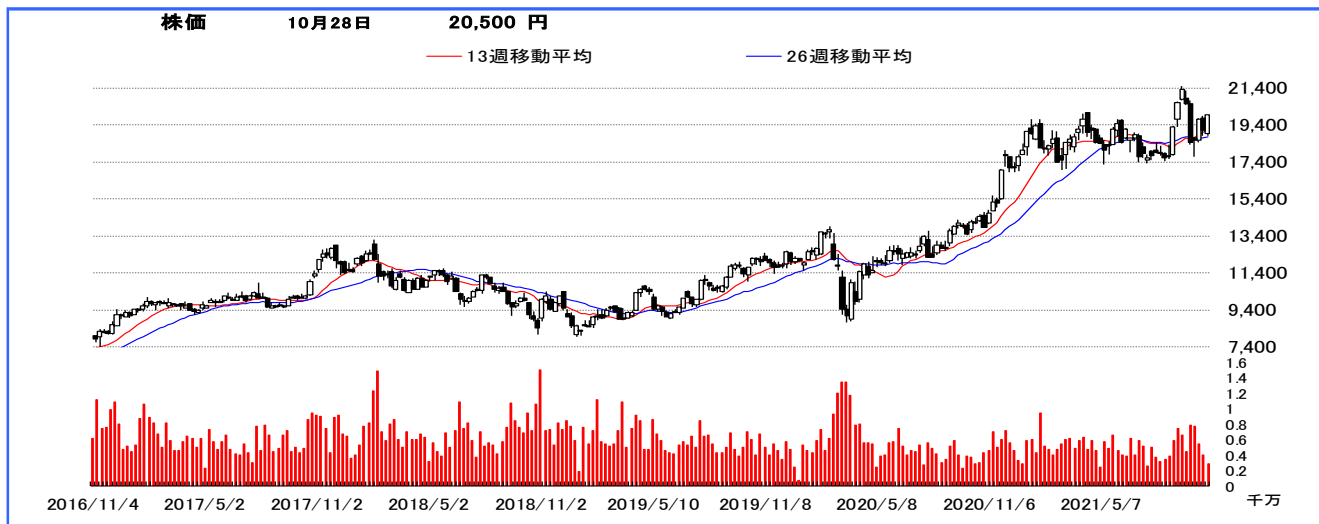
今週の予定

	国内	海外
11/1 (月)	国産新型乗用車に自動ブレーキ搭載義務化 塩野義製薬(4507)2Q決算	[中]10月財新製造業PMI(10:45) [米]10月ISM製造業景況指数(23:00)
2(火)	日本製鉄(5401)2Q決算	[米]FOMC(~3日)
3(水)	文化の日 文化勲章受章式 まんがの日	[中]10月財新サービス業PMI(10:45) [米]10月ADP雇用統計(21:15) [米]10月ISM非製造業景況指数(23:00)
4(木)	富士フイルムHD(4901)2Q決算 トヨタ(7203)2Q決算	[米]9月貿易収支(21:30) OPECプラス閣僚級会合
5(金)	三菱商事(8058)2Q決算	[米]10月雇用統計(21:30)
6(土)	アパート記念日	[ドミニカ共和国]憲法記念日
7(日)	国有財産の日	[中]10月貿易収支

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 信越化 (4063) 東証1部



20年3月期 (百万円)		前年比	21年3月期 (百万円)		前年比	22年3月期(予) (百万円)		前年比	株価(10/28)	20,500	円
売上収益	1,543,525	-3.2%	1,496,906	-3.0%	1,700,000	13.6%	業種	化学			
営業利益	406,041	0.6%	392,213	-3.4%	485,000	23.7%	時価総額	85,416	億円		
経常利益	418,242	0.7%	405,101	-3.1%	500,000	23.4%	PER(予想)	23.40	倍		
当期純利益	314,027	1.6%	293,732	-6.5%	363,000	23.6%	PBR(実績)	2.78	倍		
EPS(円)	755.17		706.76		873.49		ROE(実績)	10.75	%		
配当金(円)	220		250		300		配当利回り(予想)	1.46	%		
							担当	多功	毅		

出所: 業績に関する数値は決算短信より

世界シェアトップの半導体用シリコンウエハ、塩ビを中心に世界的な高シェア製品を多数有する高収益、キャッシュリッチ企業。

22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比44.4%増収、81.7%営業増益の着地。好調な業績であった1Q比でも16.8%増収、31.6%営業増益と一段と売上、利益成長が加速している。生活環境基盤材料(塩ビ製品が主)、電子材料(半導体用ウエハ・フォトレジスト・マスクブランクス、希土類磁石など)、機能材料(シリコーンなど)の主要3事業が前年比、1Q比で揃って増収増益となっている。特に伸びているのが米国の塩ビ事業であり、2Q(4-6月が連結対象)は値上げ効果が大きく貢献している。また電子材料は半導体用ウエハの伸びが大きく貢献した他、他の半導体関連部材や希土類磁石も増益に寄与している。通期については13.6%増収、23.7%営業増益計画を据え置いた結果、下期は前年比3.5%減収、10.2%営業減益、上期比で19.4%減収、37.5%営業減益となっている。会社側は米国塩ビ事業の3Q(7-9月が連結対象)は2Q比で増益になったとコメントしている。また、半導体用ウエハについても長期契約に支えられて高水準の利益が継続することが想定される。下期業績も好調に推移することが見込まれ、通期業績計画は上振れ着地となる可能性が高いものと思われる。

塩ビの生産能力で存在感を持つ中国企業は、原材料に石炭を利用するカーバイド法を採用する企業が多い。火力発電にも用いられる石炭価格が高騰していることに加えて、環境規制が強化されたことで、中国塩ビ企業の生産、輸出は抑制されており、国際的な塩ビ需給のひっ迫局面の継続が想定される。また、半導体用部材についても、半導体不足を背景とした好需給の継続、EUV向け高付加価値製品の拡販が進むものと思われる。来期に向けても良好な事業環境の継続を想定する。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(10/28)	コメント
コシダカ HD (2157) 東証1部 687円	21年8月期通期決算は前年同期比52.0%減収、76億円の営業赤字に転落。新型コロナにより運営するカラオケ店で営業休止が相次いだことで、業績が大幅に悪化した。コロナ禍においても閉店は15店にとどまり、駅前・繁華街中心に48店を出店。国の基準を上回る換気システムを増強するなどコロナ対策を徹底。今期は営業休止がなくカラオケ需要が7-8割回復すると想定し、前年同期比92.8%増収、27億円の営業黒字に転換する計画。(松本 直志)
コーエー テクモ (3635) 東証1部 5,300円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比60.8%増収、94.4%営業増益、53.2%最終増益。7月に続いて2度目の上期上方修正で、上期として過去最高の最終利益となった。通期見通しは据え置き。サービス開始から1周年を迎えたスマホゲーム「三國志 覇道」が引き続き好調に推移、ロイヤリティ収入も引き続き高い水準となった。中国のゲームに対する規制強化の影響について「三國志」など売上のうち未成年者に占める割合は微小であり影響はないとした。(志田 憲太郎)
中外製薬 (4519) 東証1部 4,246円	21年12月期3Q累計(1-9月)の決算は17.5%増収、24.4%営業増益、25.7%最終増益だった。併せて通期見通しを上方修正した。5期連続で過去最高営業利益を更新する見込み。来期についても最高益更新に自信を見せた。コロナ治療の抗体カクテル「ロナプリーブ」の政府購入、抗がん剤「テセントリク」の適応拡大に加え主力品、新製品が順調となり国内売上は増収、海外は血友病治療剤「ヘムライブラ」が想定通りの増収、肺癌治療剤「アレセンサ」が想定を上回る増収となり全体で計画を超える増収となった。(志田 憲太郎)
ローツェ (6323) 東証1部 10,840円	22年2月期2Q累計(3-8月)決算は前年同期比19.3%増収、40.7%営業増益。米アプライドマテリアルズや中国など向けに、半導体ウエハ搬送装置などの販売が拡大し、会社計画を上振れ着地。台湾のファウンドリから大型受注を獲得し、半導体関連装置の受注残が過去最高となり通期計画も上方修正。繁忙が続くことを見込み、ベトナムに新工場の建設、中国拠点の生産能力増強を決定。搬送装置などの生産能力は1.5倍に拡大し、半導体投資の増加に対応する方針。(松本 直志)
日本電産 (6594) 東証1部 12,390円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比11.6%増収、10.3%営業増益、1Q比で3.5%増収、2.4%営業増益。東南アジアでの新型コロナに伴うロックダウンや自動車の減産があったが、自動車のEV化関連や電動化関連製品、ロボット関連製品の拡販によってカバーし公表計画を達成。通期計画は、ほぼ上期の上振れ分を反映させることで11.2%増収(従来予想5.1%増収)、18.8%営業増益(12.5%増益)に上方修正。(多功 毅)
日東電工 (6988) 東証1部 8,760円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比14.3%増収、72.9%営業増益、1Q比で9.1%増収、45.0%営業増益。スマホ、セラミックコンデンサ、半導体などの生産工程用部材、ディスプレイ材料、ハイエンドスマホ向け高精度基板やデータセンター用HDD向けのプリント基板、さらに新型コロナワクチン向けアジュバント、核酸医薬材料などが売上をけん引。通期計画は、上期業績をけん引した製品が好調に推移していることや円安による収益押し上げ効果を踏まえて、11.0%増収(従来予想3.1%増収)、34.3%営業増益(同11.9%増益)に上方修正。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室